



# しながわがくげい



令和6年度 2月号  
品川学藝幼稚園  
園長 関 幸治

## 【お餅をつきました】

1月22日（水）家庭教育学級の一環で、お餅つきをしました。例年この時期に行っていますが、いつもながらに事前の計画や準備の周到さに驚いています。担当のお母さん方は昨年から計画を立て、何回もメールでやり取りしたり、話し合ったりしました。もち米はどのくらい用意をすればよいか、餅つき機（もち米を蒸かすため）の試運転はいつにすればよいか、臼や杵を水につけるのはいつごろから等々、当日を迎えるまでにたくさんの苦労があったと思います。普段食べているお米ともち米の違いが分かるように、小さなペットボトルに入れて見せてくれました。蒸かしあがったもち米がどのようになっているかも直接見ることができ、子どもたちは興味津々でした。松本副校長先生の介添えに加え、今回は用務の柴田さんも応援してくれました。伝統の行事を楽しく終えることができました。



## 【ちょっと・・・】

1月28日、交流活動で宮前小学校に行ってきました。今年は、2年生の子どもたちが「給食配膳」「掃除」「日直」「ランドセル」「名前書き」の5つの体験コーナーを作ってくれました。小学校に入学すればすぐに取り組むものばかりです。子どもたちは、5つのコーナーを順番に回って小学校生活の一端を味わいました。どの小学校に入学してもほとんど同じことをやっていきます。事前に体験できてよかったと思います。ちょっと自信がいたかな。



## お昼を・・・

年長の子どもたちの園生活も残り2か月となりました。2月7日にはお別れ遠足で上野動物園に行ってきます。3年間一緒に過ごした友達と楽しいひと時を過ごしてもらえたらと思っています。さて、コロナの前には卒園児と行っていたお昼の会食を復活させることにしました。3～4名ずつに分かれ実施します。場所は園長室です。園長室は事務局のある建物の4階にあります。普段は幼稚園の職員室にいますので、子どもたちは園長室がどこにあるのかを知らないと思います。



お弁当をもった移動ですから大変かもしれません。でも、年長さんですから大丈夫と思っています。会食をしながらどんな話をしようかと今から楽しみにしています。少しでも卒園に向けての励みになればと思っています。

## 2月 指導のねらい

### すみれ組

○友達と遊んだり話したり歌ったりすることを喜び、一緒に活動しようとする。

### ばら組

○自分のことだけでなく、相手の気持ちにも気づくことができるようになる。

### まつ組

○思いや考えを伝え合い、友達と協力して生活や遊びを工夫して進めていくことを楽しむ。



## 講師による指導（2月）

### 器楽指導

渡辺 正明先生 ばら組

### 英語指導

ジェマ ヘムス先生 ばら組 まつ組

### 体育指導

櫻井 由香先生 ばら組 すみれ組



## ○お知らせ

### 「保存食の配布」

震災等の緊急時用として、園の倉庫に備蓄していた非常用食料の一部が間もなく期限切れとなります。6年の長期保存のきく食糧でしたが、入れ替えの時期になりました。こうやって入れ替えることができるのも、大きな災害が起こらなかったという証でもあります。災害はいつ起こるかわかりません。備えあれば憂いなしということです。

2月10日（月）に、園児一人につき非常食を3袋渡します。期限切れ前の物ですので、食べても大丈夫です。これを材料として、子どもたちと災害時の対応を考える機会としていただけると幸いです。

## しながわがくげい 2月 如月(きさらぎ)の俳句

節分、立春と暦は春になりました。ただ、気温は一年で最も低い時期になります。まだまだ寒いですが、日の当たる園庭で、活発に体を動かせるようにしたいと思います。



うぐいす 鶯や 前山いよよ 雨の中(水原秋櫻子)

咳の子 なぞなぞあそび きりもなや(中村汀女)

叱られて 目をつぶる猫 春隣(久保田万太郎)

冴えかへる もののひとつに 夜の鼻(加藤楸邨)

学門の さびしさに堪へ 炭をつぐ(山口誓子)

白き皿に 絵具を溶けば 春浅し(夏目漱石)

あたたかく 炒られて嬉し 年の豆(高浜虚子)

三つ子さへ かいりかいりや 年の豆(小林一茶)

